

された展開，まとめということの中で，主体的に学習に取りくませ，注意を集中させ学習の個別化をはかり，意欲を持続させていことを力点において指導する。

カ 家庭での学習についての対策

家庭での学習に子ども達が意欲的に取りくめるように，また家庭での学習が授業に生かされることによって意欲的な学習が営めるようにしたいということから，ひとりひとりが，自主的に課題をもってできるような家庭での学習の計画を立てさせるよう努めていることなどを中心に強調された。

- ⑤ 分科会は低，中・高学年ともに共通テーマとして「学習意欲を高めるための読みの力をどうつけるか」のもとに研究発表がなれ活発な研究討議がもたれた。

(3) 浜通り方部

- ① 期日 10月29日

- ② 会場 石城郡川前村立川前小学校

ア 研究主題

「山村における児童，生徒の学習活動を活発にするにはどうすればよいか」

イ 研究発表

学校経営と問題点

川前小・中学校長 大平 幸 男

ウ 研究内容

望ましい学校の建設を目標に絶ゆまざる研究と実践を歩み。山村という地域の中で教師も子どもとともに自身と誇りをもち，学力の充実と体位の増強に努力している学校経営の姿が発表された。教育四領域にわたりひずみのない経営がなされている。

エ 研究発表

「算数の授業を活発に進めるため水道方式による学習指導の具体策」

葛尾小学校風越分校教諭 五十嵐 昭 英
複式学級における算数授業の活発化について，水道方式による学習指導の実践をとおしての研究発表であった。

- 計算の指導体系が明確に確立されている。（基数加減から多位数加減まで一貫したルールで）
- 教具が10進構造をよくあらわしているので数の構造，量感が記憶されやすい。
- 限界のある暗算をあとまわしし筆算を優先させているので安定感のある学習ができる。

複式学級における困難な算数学習指導について貴重な体験発表であり参加者に感銘をあたえた。

午後から分科会がもたれて，山村，へき地における学習指導を中心としての研究協議がもたれて意識ある会であった。

(4) 会津方部

- ① 期日 11月5日（木）

- ② 会場 南会津郡下郷町立南小学校

ア 研究主題

「へき地において学習意欲を高め学力を向上させるための指導をどうしたらよいか」

イ 第1分科会

「小規模学校（分校）経営と環境整備について」

- ウ 研究発表者 翁島小学校教諭 国分 八郎
奥川小学校教頭 武藤 敬一郎
南小学校 教頭 猪股 宏平

エ 研究協議

学習指導法，地域社会との連携，現職教育の効率的な運営，直接経験の乏しい山村の児童，生徒にたいしての施設，設備の活用等について話し合いがなされた。

- ③ 第2分科会

ア 研研主題

「複式学級における学習指導について」

- イ 研究発表者 磐梯小学校教諭 中東 稔
宮下小学校教諭 為田 光意
南小学校 教諭 佐藤 正典

ウ 研究協議

学年別の目標を明確にとらえ，画一的な指導よりも，個人指導の徹底をはかり，教材教具の選択と活用が論議の中心となって研究が進められた。

- ④ 第3分科会

ア 研究主題

「算数科において基礎的能力を身につけさせるための指導はどのようにしたらよいか」

- イ 研究発表者 大久保小学校教諭 五十嵐 チョ
久保田小学校教諭 金子 孝威
南小学校 教諭 鈴木 久男

ウ 研究協議

計算力と文章題解決力のちがいが，文章題の指導（図式を用いての指導，作問指導）といったところに焦点をあてて話し合いがもたれた。

特に五十嵐教諭からは分校におけるキイペットの活用の結果について，誤答分析の結果からの貴重な資料が提出された。

3 文部省指定校中間発表会

- (1) 期日

- (2) 会場 双葉郡浪江町立津島小学校

文部省においては，へき地教育に関する重要な課題を研究し，その成果を公表して，へき地教育の改善とその振興に資する目的で，へき地の学校または複式学級を緩成する小学校および中学校に対し，全国で46校を指定している。本県においては，本年度浪江町立津島小学校が指定された。